

公 示 用

令 和 4 年 度

設 計 書

役務名 手 稲 水 再 生 プ ラ ザ 高 圧 電 気 設 備 点 検 業 務

令 和 4 年 6 月

【業務委託設計書作成基準の公表について】

- (1) 業務委託費の積算の透明性・妥当性を図ることを目的として、本市の業務委託設計書作成基準を一部、公表しています。
- (2) 公表は、下水道庁舎1階の閲覧コーナーにある閲覧用パソコン(2台設置)で行っています。
- (3) 提供時間は開庁日の午前9時から午後5時までです。(12時15分から13時00分を除く。)
- (4) 閲覧に当たっては、備付けの情報提供設計書閲覧・複写届に必要な事項を記入し、窓口に提出してください。
- (5) データの閲覧又は、CD-Rへの複写が可能です。CD-Rは持参してください。

業務委託設計書作成基準を公表しているのは、下表の業務である。

業務項目	対象施設、設備等
運転管理業務	拓北T、伏古川T、東部T、定山溪T、厚別T
	西部SC焼却、西部SC脱水、東部SC、手稲沈砂洗浄C、厚別洗浄C
融雪施設運転管理業務	創成川融雪管、厚別融雪槽
維持管理	埋設圧送管、MP施設等
汚泥等運搬業務	沈砂等、定山溪プラザ濃縮汚泥、東部SC等脱水汚泥
焼却灰運搬業務	西部SC
クレーン性能検査整備	
電気設備点検	特別高圧、高圧電気、計装、高圧電動機等、シーケンサ等、直流電源
エレベータ点検	
消防設備点検	
庭園管理	
構内除雪	

札 幌 市 下 水 道 河 川 局 事 業 推 進 部
新川水処理センター

役務名 手稲水再生プラザ高圧電気設備点検業務

業務委託費

円

一金

内訳

業務価格

円

消費税等相当額

円

業務説明

1 業務の概要

1. 手稲水再生プラザの高圧電気設備は、施設の運転に必要な電力を供給するための重要な設備である。これらの設備の故障を未然に防止するとともに、信頼性の向上をはかるため、本業務による点検整備を行うものである。

2 履行期間

契約締結日から

令和5年3月17日まで

3 仕様書

別添共通仕様書、特記仕様書および図面による。

業 務 委 託 総 括 表

(役務名) 手稲水再生プラザ高圧電気設備点検業務

(一金) 円

業務委託費

業務価格

業務原価

直接業務費

間接業務費

一般管理費等

検査手数料等

消費税等相当額

輸送費

材料費

労務費

複合工費

直接経費

仮設費

共通仮設費

現場管理費

業務間接費

運搬費

準備費

安全費

技術管理費

第 号内訳書

第 号内訳書

第 1 号内訳書

第 号内訳書

第 2 号内訳書

第 3 号内訳書

第 4 号内訳書

第 5 号内訳書

第 6 号内訳書

第 7 号内訳書

第 号内訳書

(積上げ分)

(積上げ分)

(積上げ分)

(積上げ分)

第 1 号 労 務 費 内 訳 書

一金 円

名 称	形 質	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技 術 者		人工	80.3			
計						

札 幌 市

(委託設計書 様式 4)

(電気設備用)

第2号 直接経費内訳書

名 称	積 算 計 算	金 額
直 接 経 費	軽微な機械器具の損料＝労務費× %	円
	直 接 経 費 ＝ ×	
	＝ 円	

(電気設備用)

第3号 仮設費内訳書

名 称	積 算 計 算	金 額
仮 設 費	仮 設 費 ＝ 仮設費対象額×仮設費率 ＝ ×	円
	＝ 円	
	仮 設 費 率 ＝ ＝ %	

(電気設備用)

第4号 共通仮設費内訳書

名 称	積 算 計 算	金 額
共 通 仮 設 費	共 通 仮 設 費 ＝ 直接業務費×共通仮設費率 ＝ ×	円
	＝ 円	
	共 通 仮 設 費 率 ＝ ＝ %	

札 幌 市

(委託設計書 様式5)

(電気設備用)

第5号 現場管理費内訳書

名 称	積 算 計 算	金 額
現 場 管 理 費	現場管理費 = (直接業務費 + 共通仮設費) × 現場管理費率 X = 直接業務費 + 共通仮設費 (円)	
	現場管理費率 =	
	現場管理費 = × =	円

第6号 業務間接費内訳書

名 称	積 算 計 算	金 額
業 務 間 接 費	業務間接費 = 技術労務費 × %	
	= ×	
	=	円

第7号 一般管理費等内訳書

名 称	積 算 計 算	金 額
一 般 管 理 費 等	一般管理費等 = 業務原価 × 一般管理費率 X = 業務原価 (円)	
	一般管理費等率 =	
	一般管理費等 = × =	円

札 幌 市

(委託設計書 様式5)